

「学校教育目標」と「令和8年度重点目標」に向けて

学校教育目標

「自立に向けてともに磨き合う児童の育成」

児童チャレンジ目標

「毎日笑顔で、人とのつながりを大切にしよう」

【重点目標】

- ・一人ひとりを大切にできる学校
- ・互いの良さを認め合える学校
- ・地域に誇りをもち、地域と共に学ぶ学校

*SWPBSを軸にした学校教育の推進

城南小 こころプロジェクト

	意欲をもって学び、 挑戦する子	人とのつながりを 大切にできる子	体のことを 大切に考える子
授業	体と顔に向けて話を聴こう。	使った道具や使った場所は、 元通りにしよう。	良い姿勢をしよう。 (くーびた・びん)
学校生活	次の授業の準備をして 休めよう。	はきものをそろえよう。	ろう下の右側を歩こう。
学校・ 家庭・ 地域		自分からあいさつをしよう。 (いつでも、どこでも、だれにでも)	早寝・早起き・朝ご飯
	ふわふわ言葉を使おう。 ふわふわ行動をしよう。		

知育

意欲をもって学び挑戦する

徳育

人とのつながりを大切にできる

体育

進んで運動に取り組む

地域

郷土を知り地域に貢献する

【子どもの実態】

- 素直で明るく子どもらしい
- 異学年との交流が盛んである
- 積極的にあいさつができる
- 友だちの個性を尊重できる

目指す教師像
憧れの存在に

- 素直な心と柔軟な姿勢で資質向上に努める
- 子どもの理解を図り成長を支える
- 使命感と連帯感を大切にする
- 子ども・学校・地域を愛する

目指す保護者像
支える存在に

- 子供の成長を一番に考える
- 結果よりも過程を大切にできる
- できることをしっかりさせる
- できたことはしっかりほめる
- 諸活動に前向きに取り組む

目指す地域像
手本となる存在に

- 子どもとのふれあいを楽しむ
- 諸活動に前向きに取り組む
- 子どもとのふれあいを広める
- 子どもに考えさせ行動させる

何を学ぶか ○学力の向上

- 基礎基本の徹底（読む、書く、説明する）
- 表現力の育成（伝える力）
- 個別最適な学習方法を追求し、児童が自ら学ぶ意欲を引き出す
- 家庭学習の充実
- 読書活動の充実

何を学ぶか ○心身の健康

- 困難を乗り越える力と前向きな心の育成
- 体力の向上
- ・14の日に大人と一緒にスポーツ体験
- 良い生活習慣の獲得（早寝・早起き・朝ご飯）
- メディアコントロール習慣

実施するために何が必要か

○教職員の資質能力向上、家庭・地域との連携・協働

- 授業力の向上
- 計画的な研修の推進
- 田布施中学校区小中一貫教育の推進
- 読み聞かせ
- 体験活動（こころ教室と連携）
- ICT機器の活用
- 家庭・地域と情報共有及び連携・協働
- 子どもと向き合う時間の確保（学校の業務改善）

安心・安全が保障される教育環境づくり

○地域と共に進める Community Wide PBS

- 城南こころプロジェクト（SWPBS）
- 個に応じたきめ細やかな対応（SC,SSW,町教委、関係機関）
- 情報共有の会（毎週のPBS共有会）
- 月ごとのSWPBS研修会
- 山口大学、先進校との連携
- 生徒指導部会、教育相談部会の充実
- 地域との合同研修会の実施、学校運営協議会の充実

令和8年度重点取組事項

- SWPBSに基づいた教育環境づくり（「安心・安全の場の保障」「人間関係づくり」「個に応じた対応」）
- 語彙力、表現力の育成（読書活動の充実、書く活動の充実、発表する経験の場づくり）
- リーダー学習（ラーンユニットを活用した授業の実践、自ら考え、自分の意見を伝える力の育成）
- 地域と連携し、郷土への愛着を深める取組（公民館等との連携、地域行事への参画・貢献）城南PRIDE
- 14の日の充実（学びの場づくり、体を動かす、様々な世代の人々と関わる経験）
- 小小連携、小中連携、保小連携、異校種間連携（田布施総合支援学校、田布施農工）、地域施設との連携
- 道徳教育・人権教育の充実